

「三宮センター街三十年史」発刊ご挨拶



三宮センター街連合会

会長 岸野利男

三宮センター街創立三十年史の発刊に当り、誠に感慨深いものがあります。

戦後間もない昭和二十一年、焦土を整地し、ともかく店舗をつくり、人集めが第一と各店主が相寄り、あの手この手と企画を重ね、当時ハイカラと言われた「三宮センター街」と命名した街は爾来、三十年間こうした諸先輩並びに各店主方の努力の集積で発展に次ぐ発展、今神戸一の大ショッピング街としてその名前は全国に知られており、今後の責務を痛感する次第であります。

都市改造と再開発事業により、このセンター街も高層立体化を遂げ、三十年前の面影とは全く一変いたしました。二十一世紀を迎えるこれからの街づくりとして、私たちは諸先輩の残された実績と努力の賜物を大切に引き継ぎ、近代化商店街としてお客様に愛される街、ファッションの街としてグレードアップに専念して、今後日本一の商店街として恥しくない商店街、店舗構成に努力して参りたく存じます。各位の御協力、御努力をお願い致します。

今回のセンター街三十年史発刊に当り協力を賜りました関係各位に対しまして、心より厚く御礼申上げると共に、三宮センター街の益々の発展に御尽力をお願い致し、各位の御健勝を御祈り申上げます。